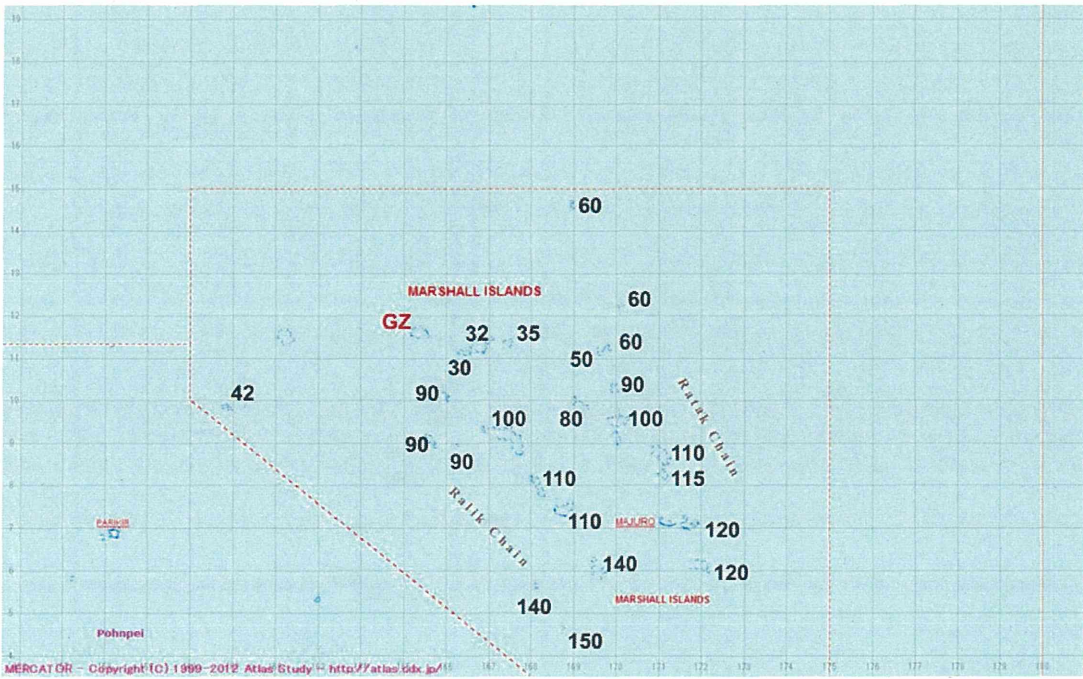
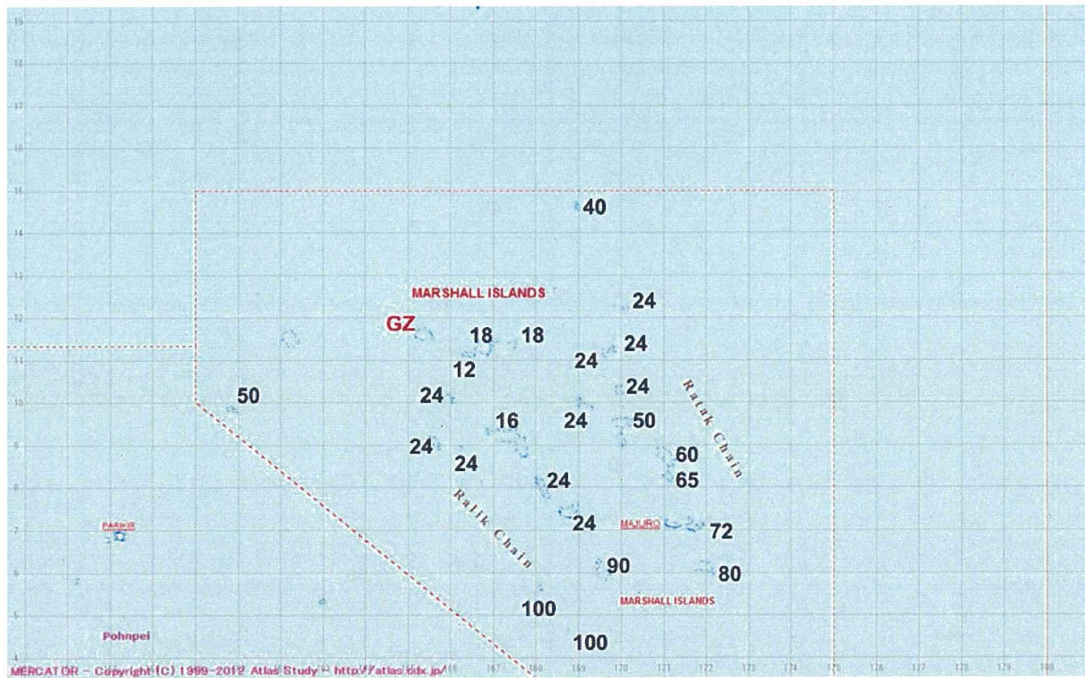


(a) ブラボー実験

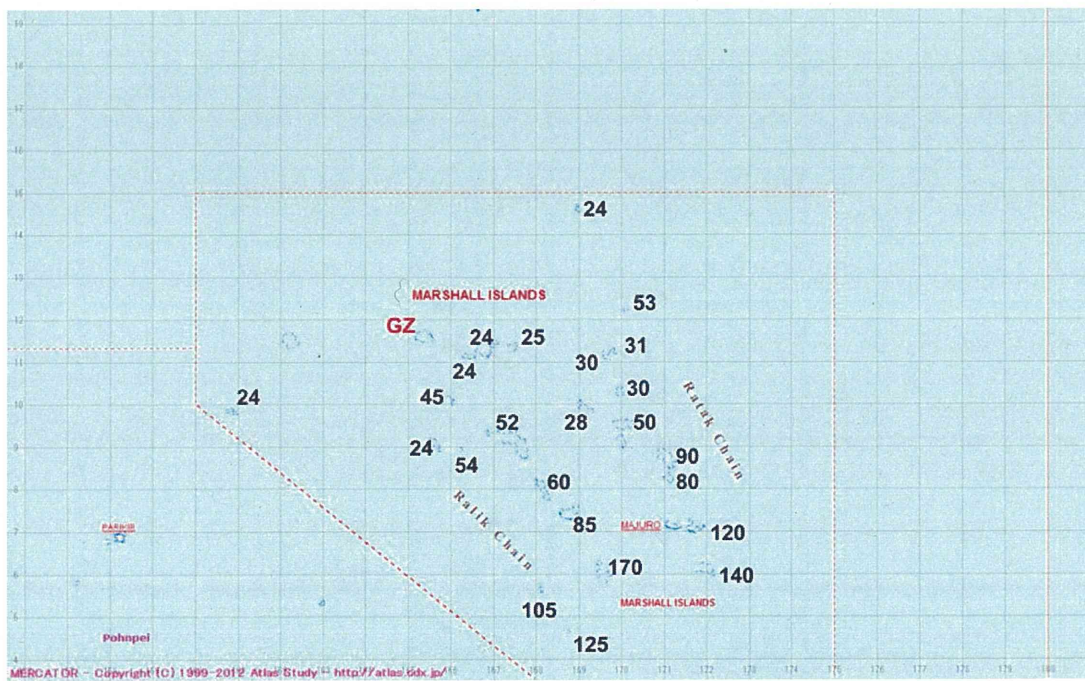


(b) ロメオ実験

図3 放射性降下物の到来時間 (TOA) (単位: h)

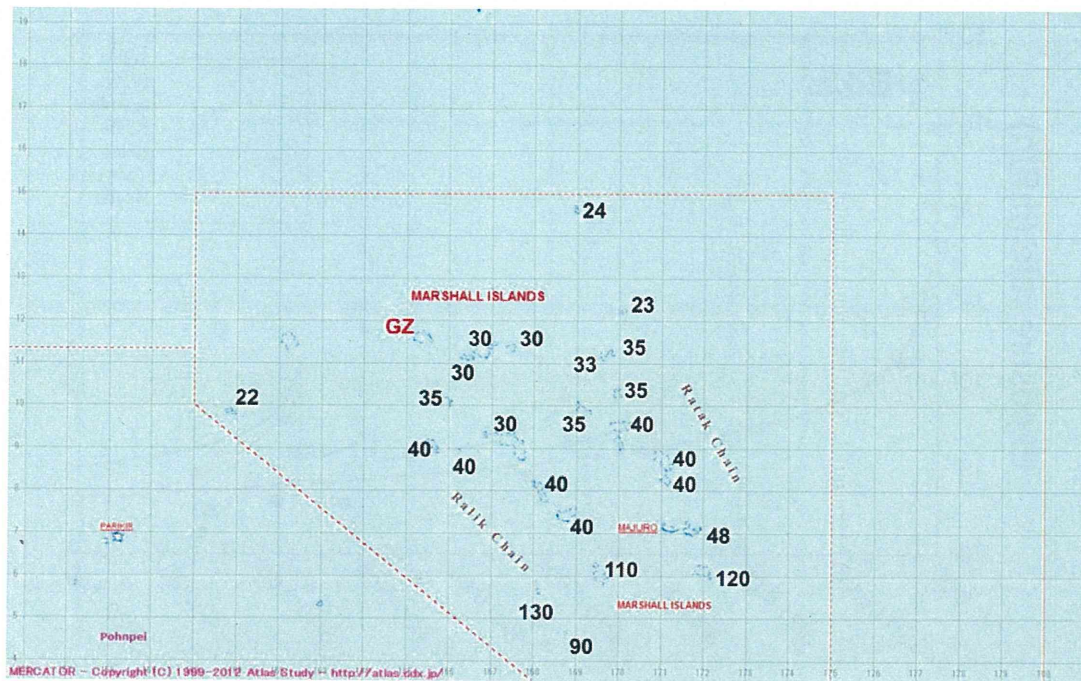


(c) クーン実験

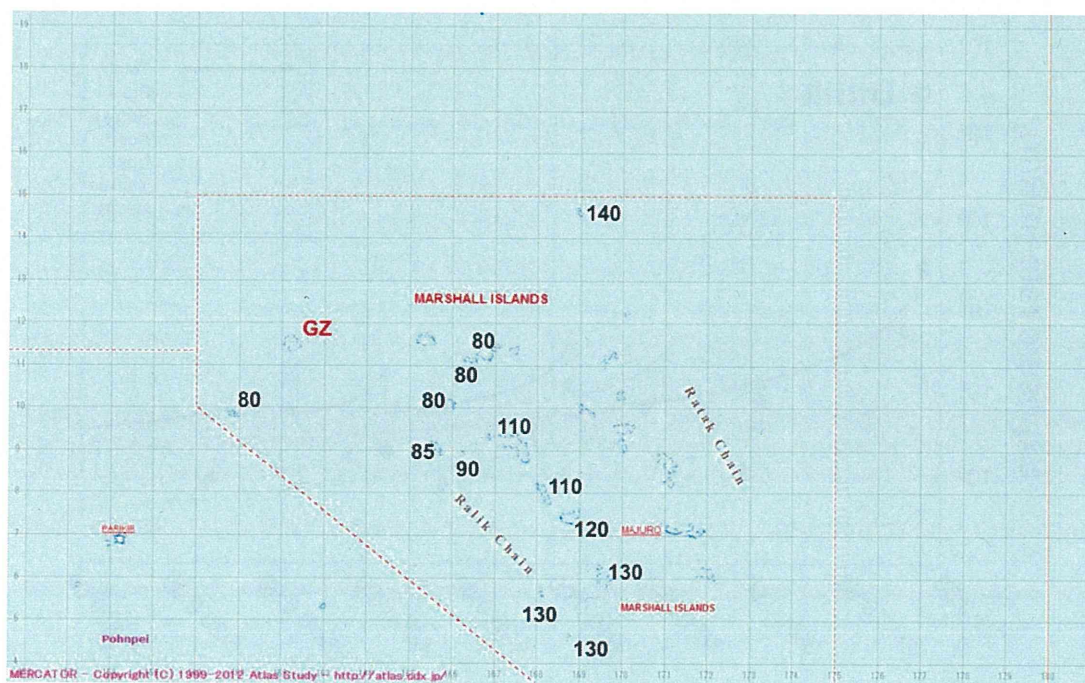


(d) ユニオン実験

図 3 (続き)



(e) ヤンキー実験



(f) ネクター実験

図3 (続き)

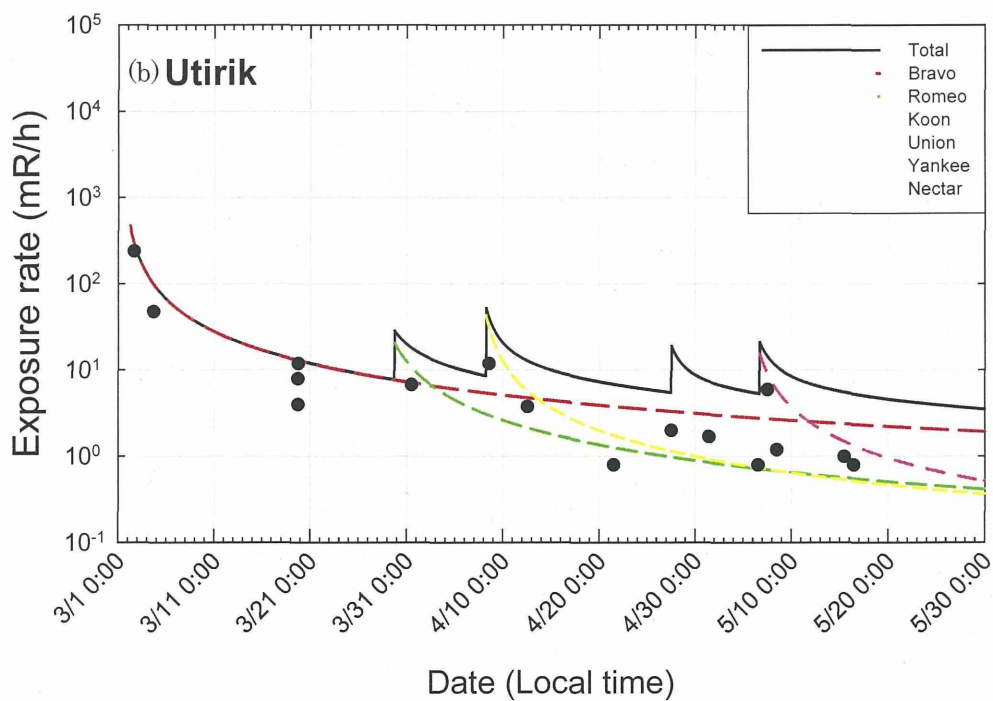
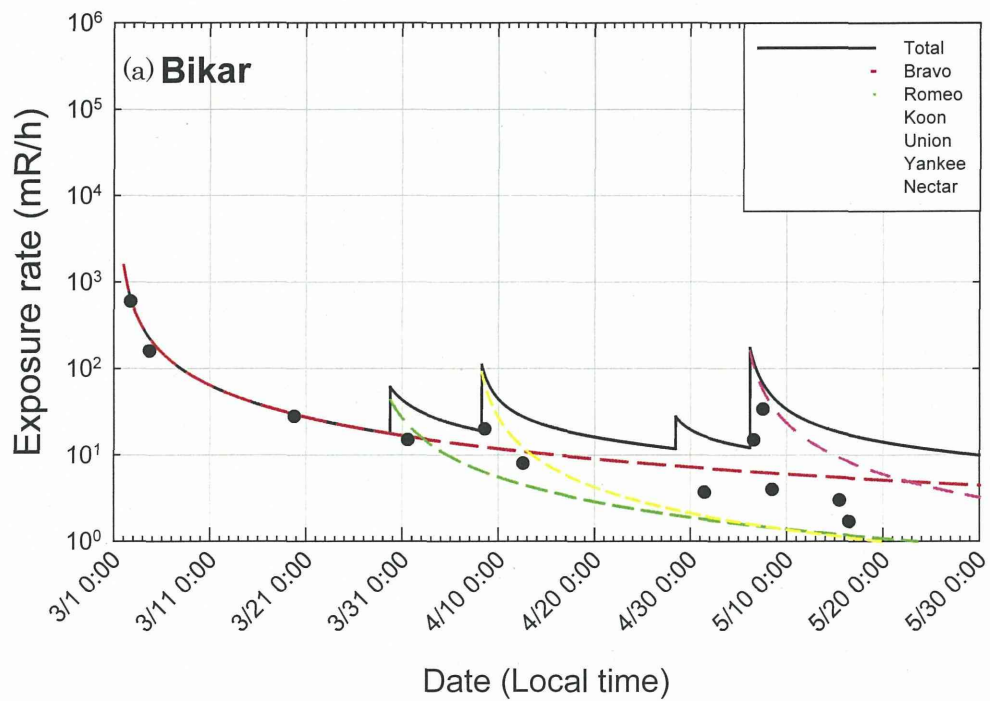
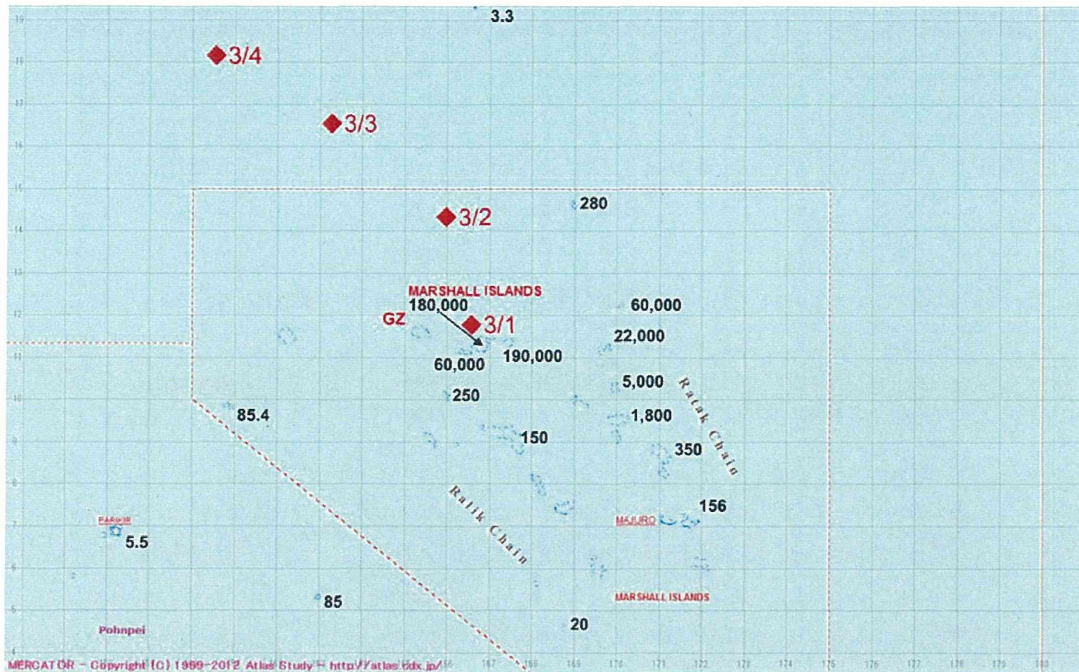
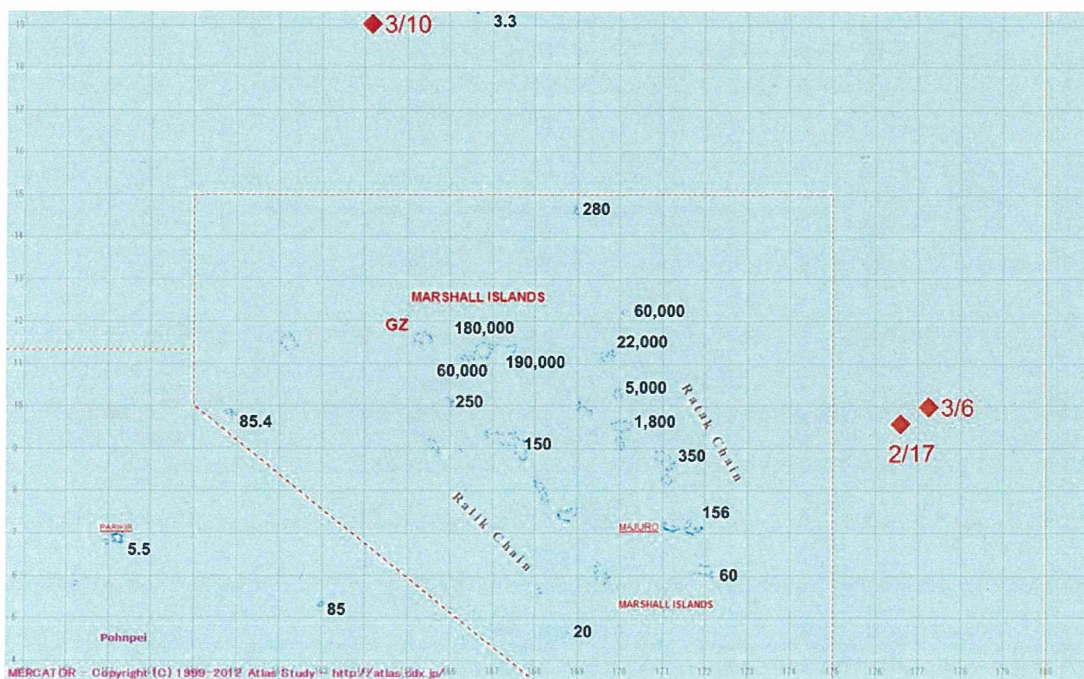


図4 ^{137}Cs 沈着密度に基づく計算 ((1)式) によるビカール環礁及びウチリック環礁の線量率と航空機モニタリングによる線量率 (●) の比較

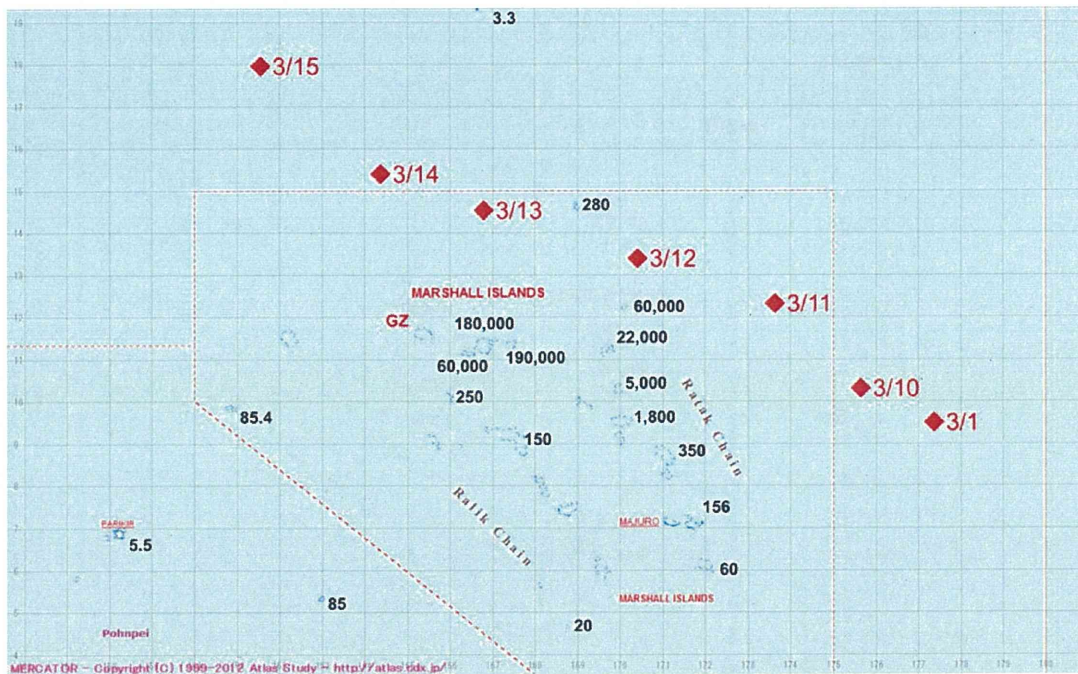


(a) 第五福竜丸

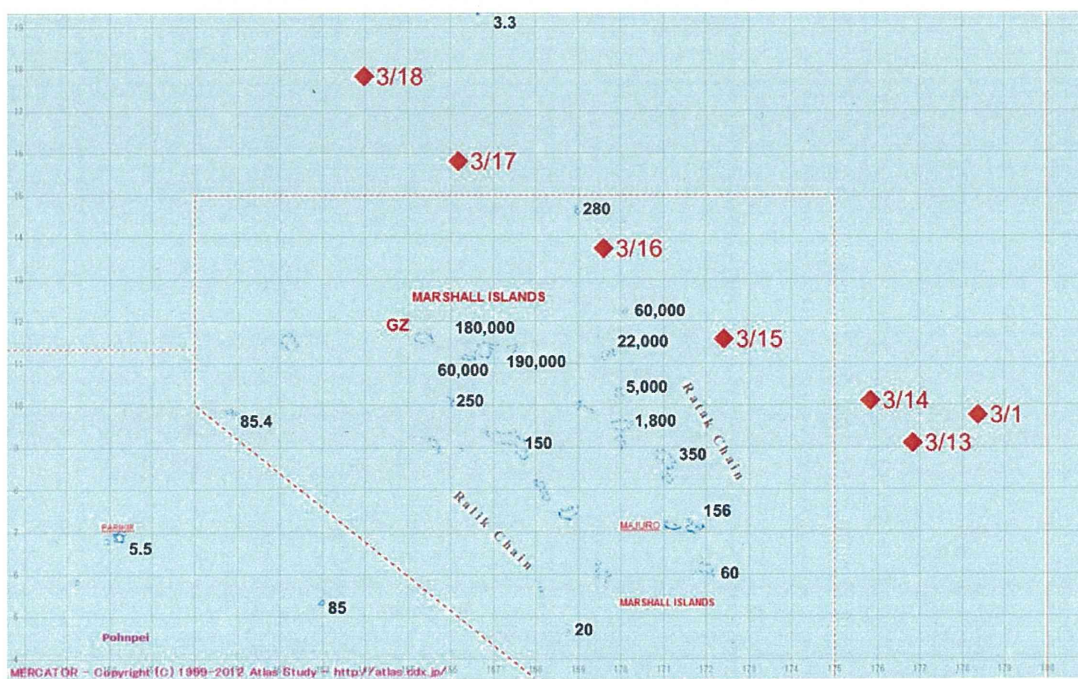


(b) 第十二高知丸

図5 プラボー実験時における代表的な漁船の航路
 (図中の数値は航空機モニタリングによる代表的環礁の線量 (mR), 表2から)

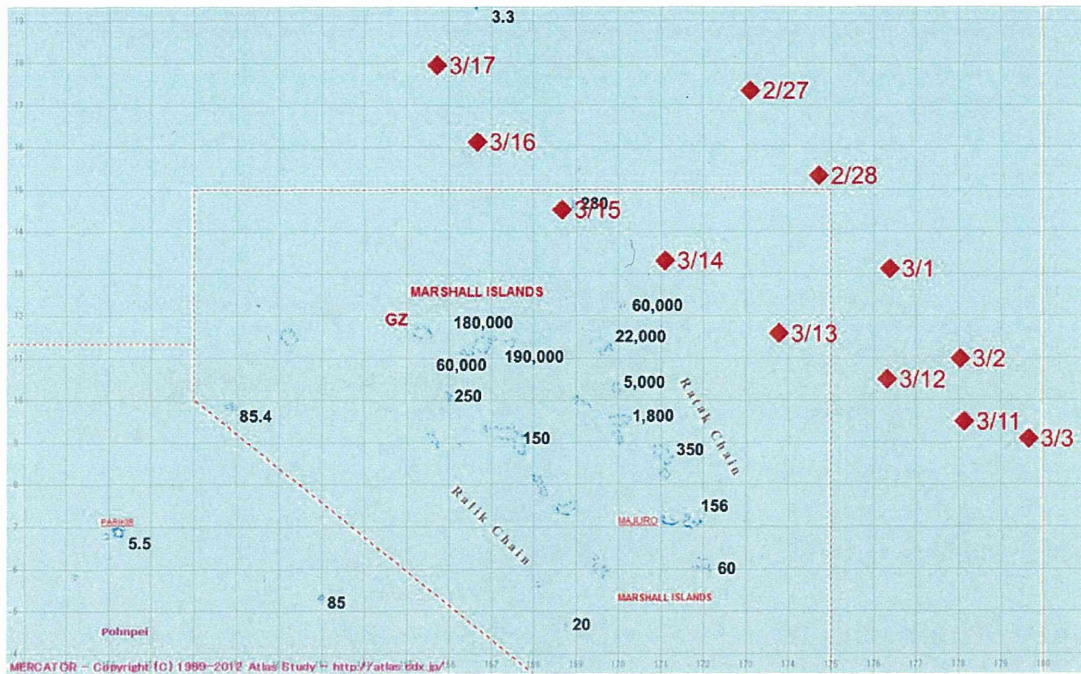


(c) 第五明神丸

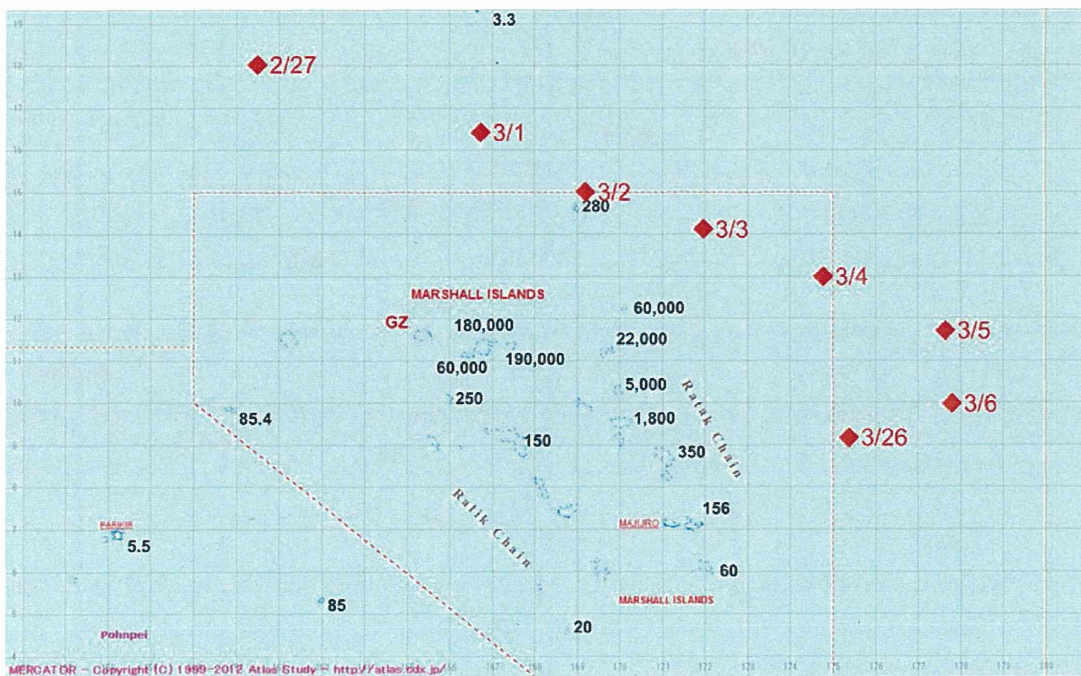


(d) 第十三光荣丸

図 5 (続き)

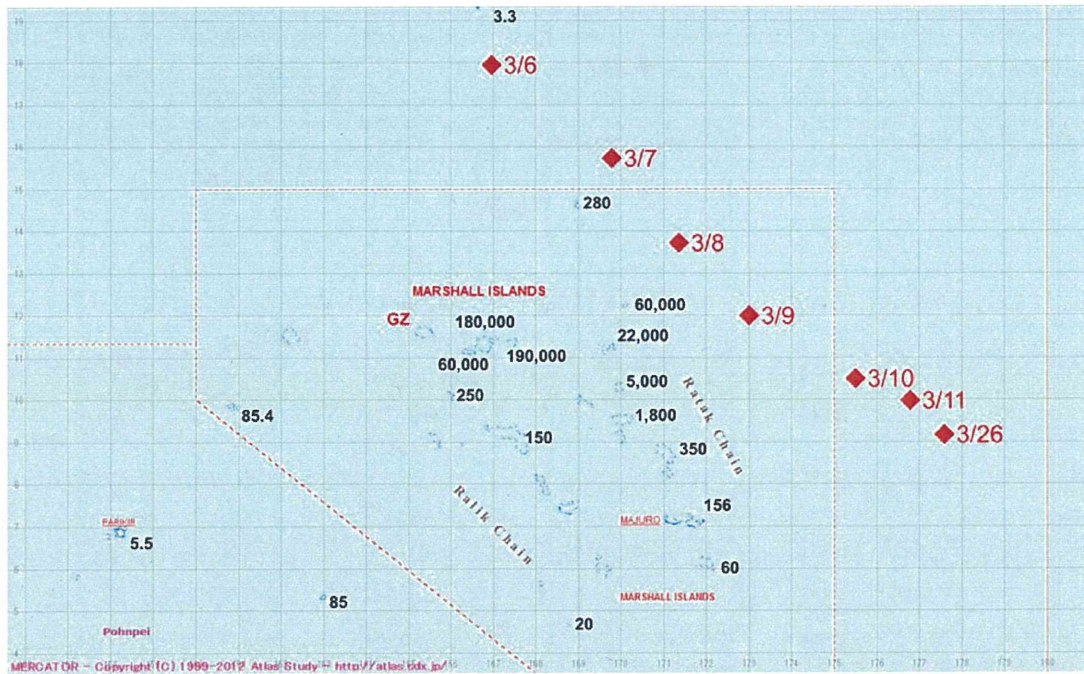


(e) 第七大丸

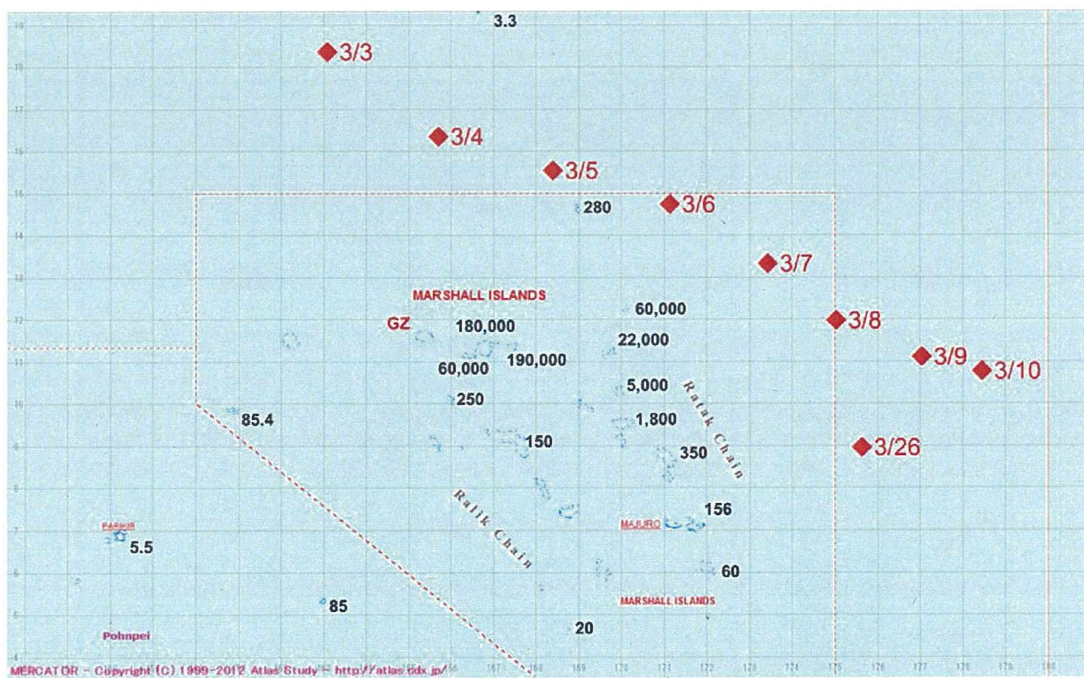


(f) 第十一高知丸

図 5 (続き)

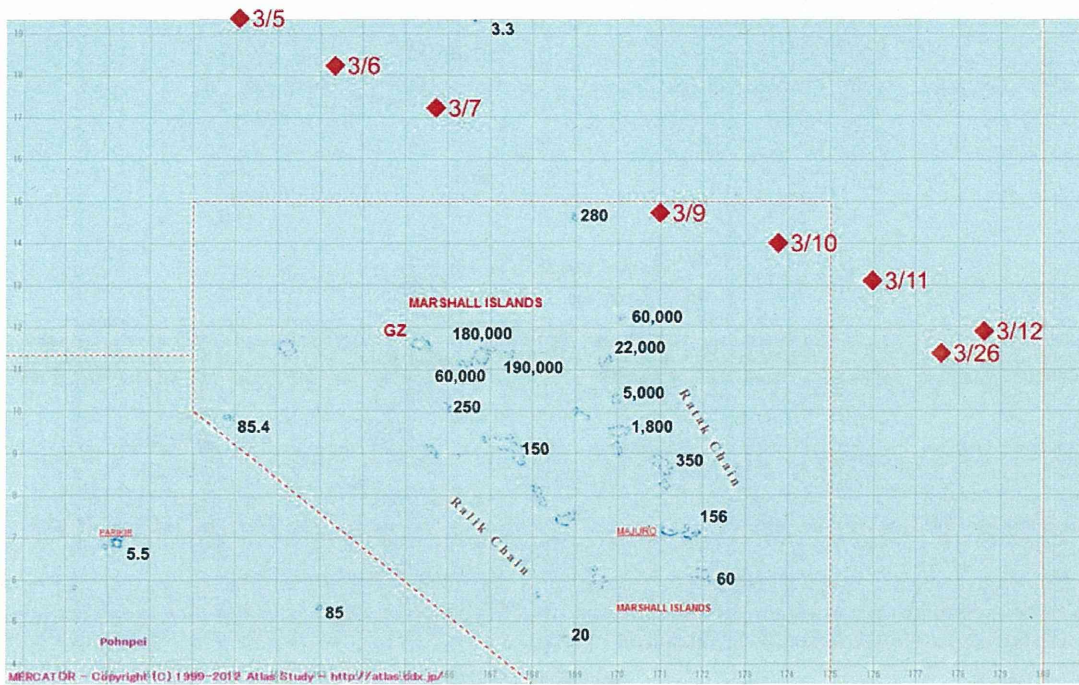


(g) 第二幸成丸

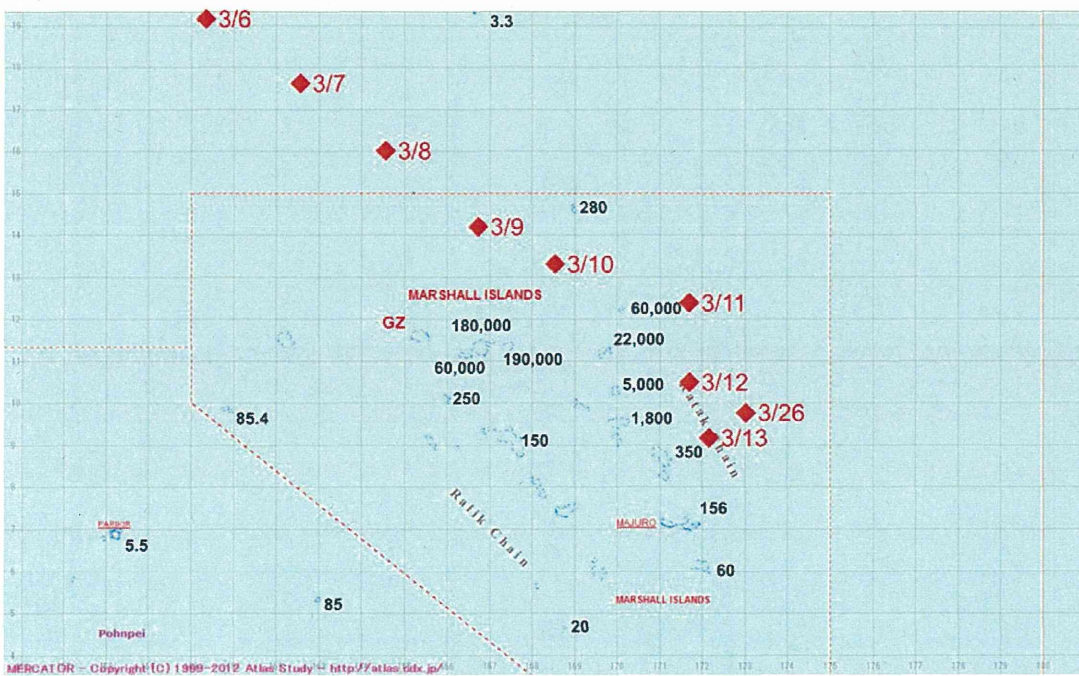


(h) 瑞洋丸

図 5 (続き)

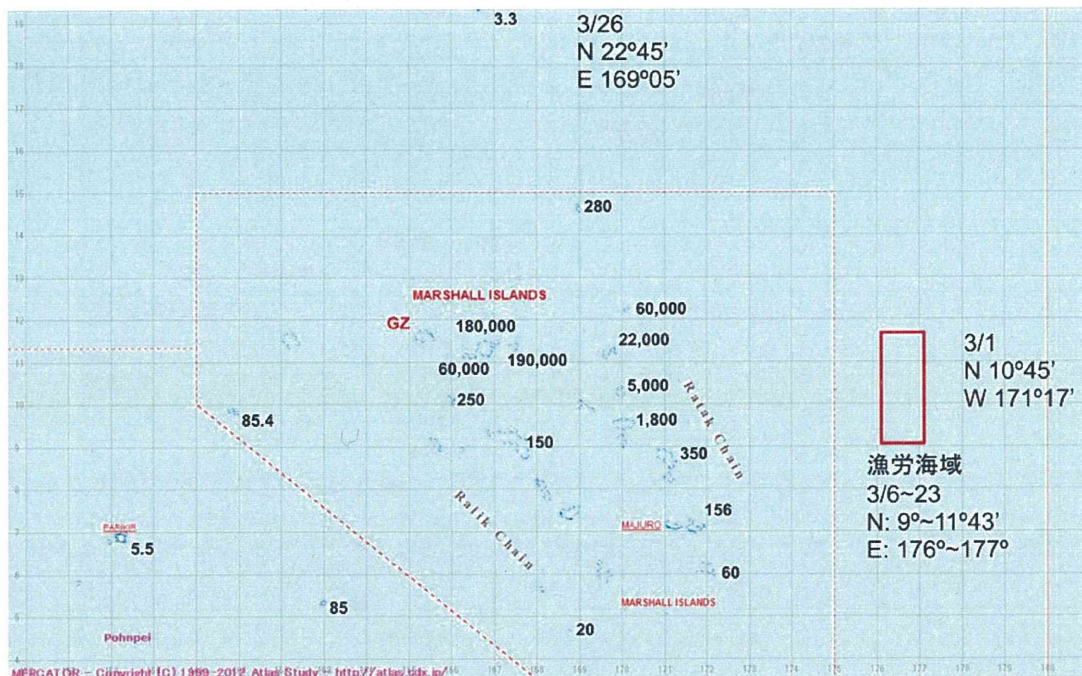


(i) 第十二宝幸丸



(j) 尾形海幸丸

図5 (続き)



(k) 第十宝成丸

(注：漁労期間中に漁労海域の北西端に滞在し続けたと仮定して線量を推計した。)

図5 (続き)

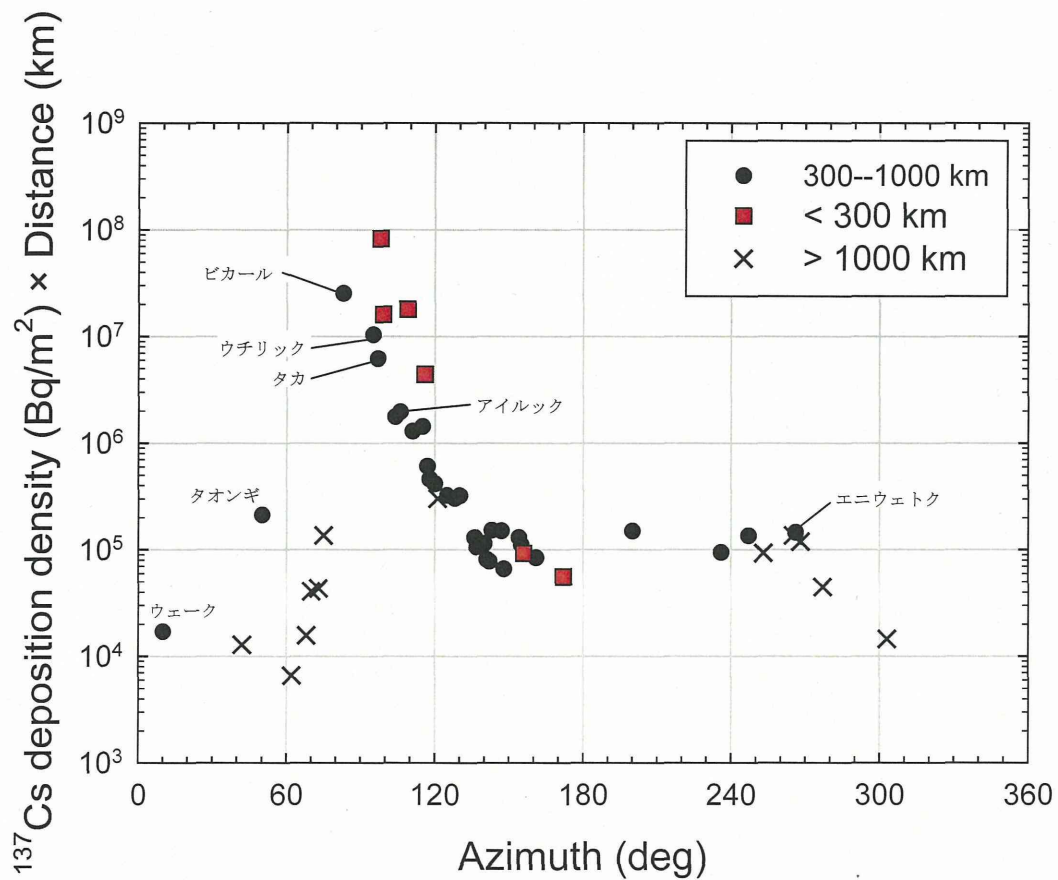


図6 ブラボー実験における各環礁での¹³⁷Cs沈着密度×距離の方位による変化

マーシャル諸島の主要な環礁又は島嶼における¹³⁷Cs沈着密度データはBeck et al (2010)に基づく。また、一部のデータ(●印(距離300~1,000 km)のうち、ウェーク島、クサイエ島、ポナペ島及びエニウエトク環礁、並びに×印(距離1,000 km以遠のジョンストン島、ハワイ諸島、カントン島、イオージマ等)は、文献(Breslin and Cassidy, 1955; List, 1955等)から算出した値に基づく。

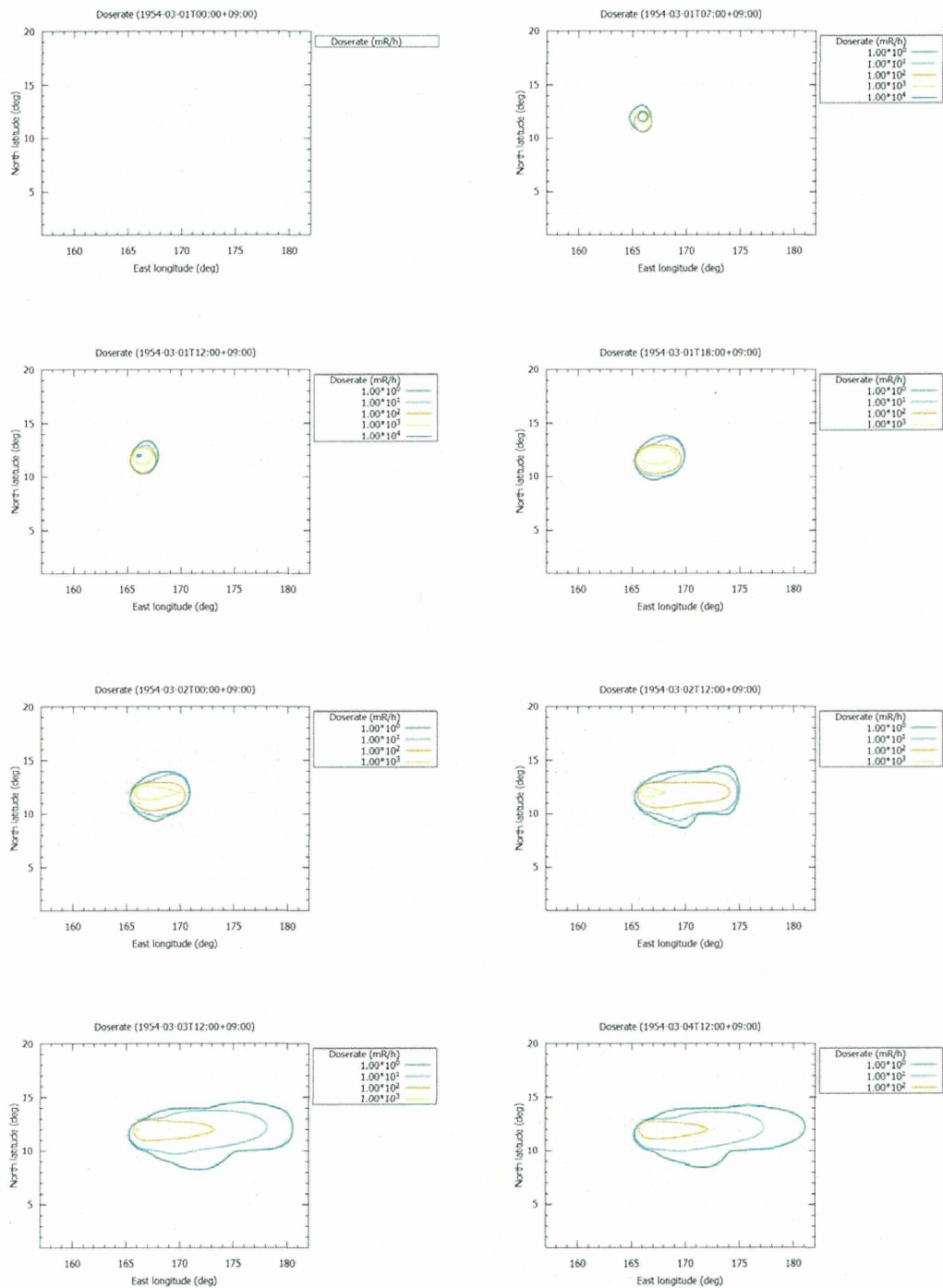


図7 DNAF-1モデルで計算したピカール環礁及びウチリック環礁方面の放射性降下物による線量率

(実験名：ブラボー，日本時間：1954年3月1日0:00～3月4日12:00)

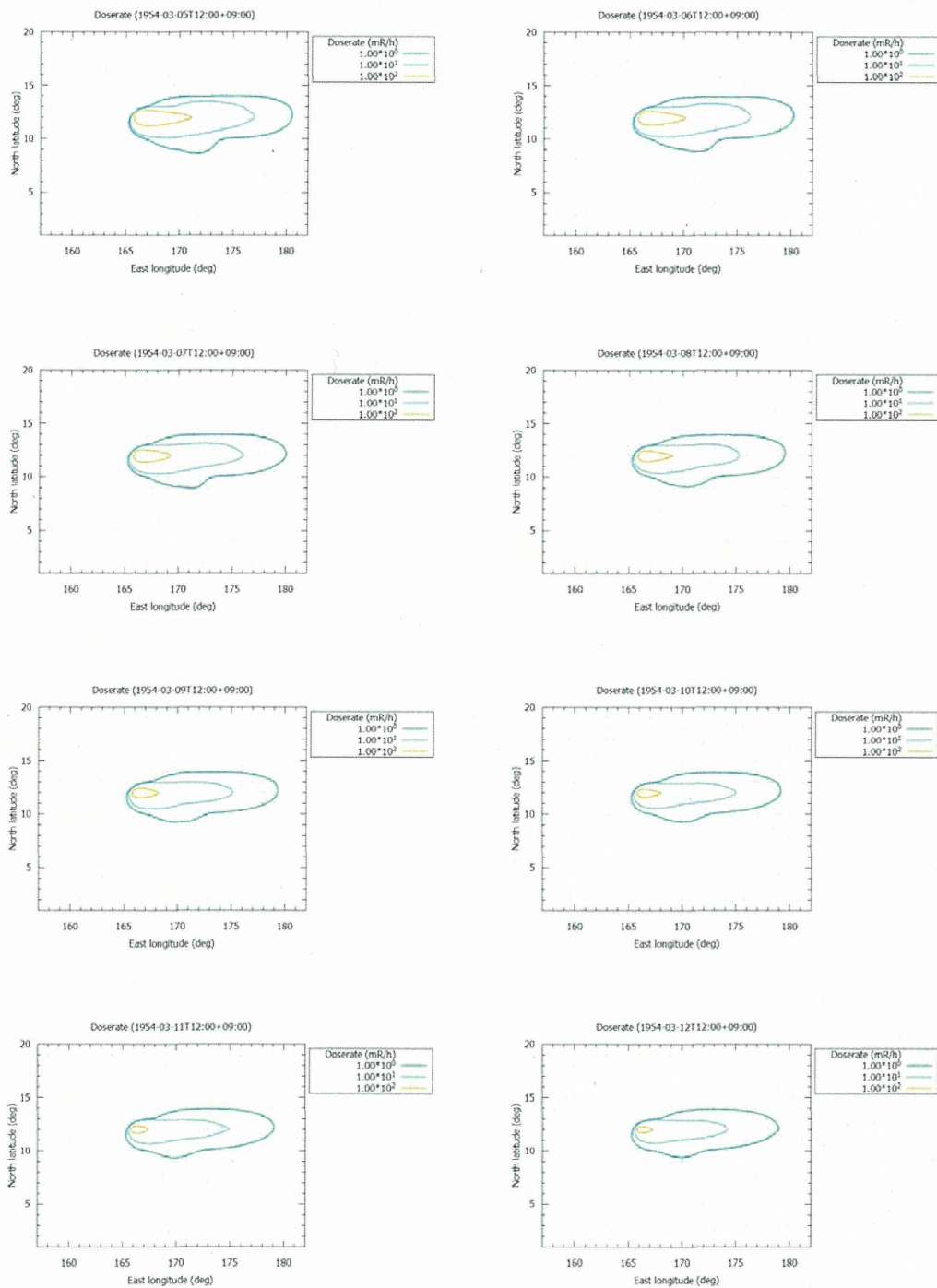


図 7 (続き)

(日本時間 : 1954年3月5日 0:00~3月12日 12:00)

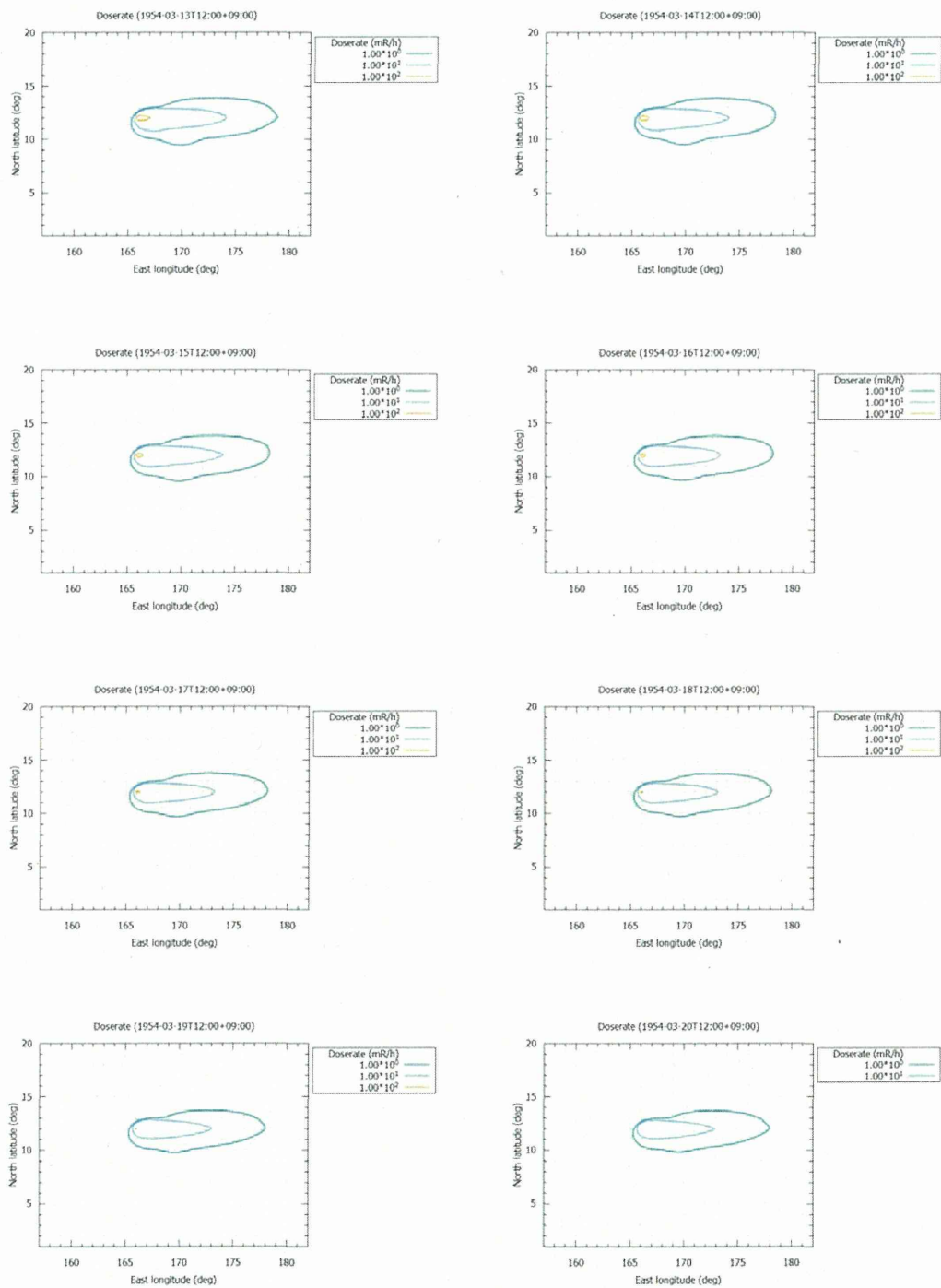


図 7 (続き)

(日本時間 : 1954年3月13日0:00~3月20日12:00)

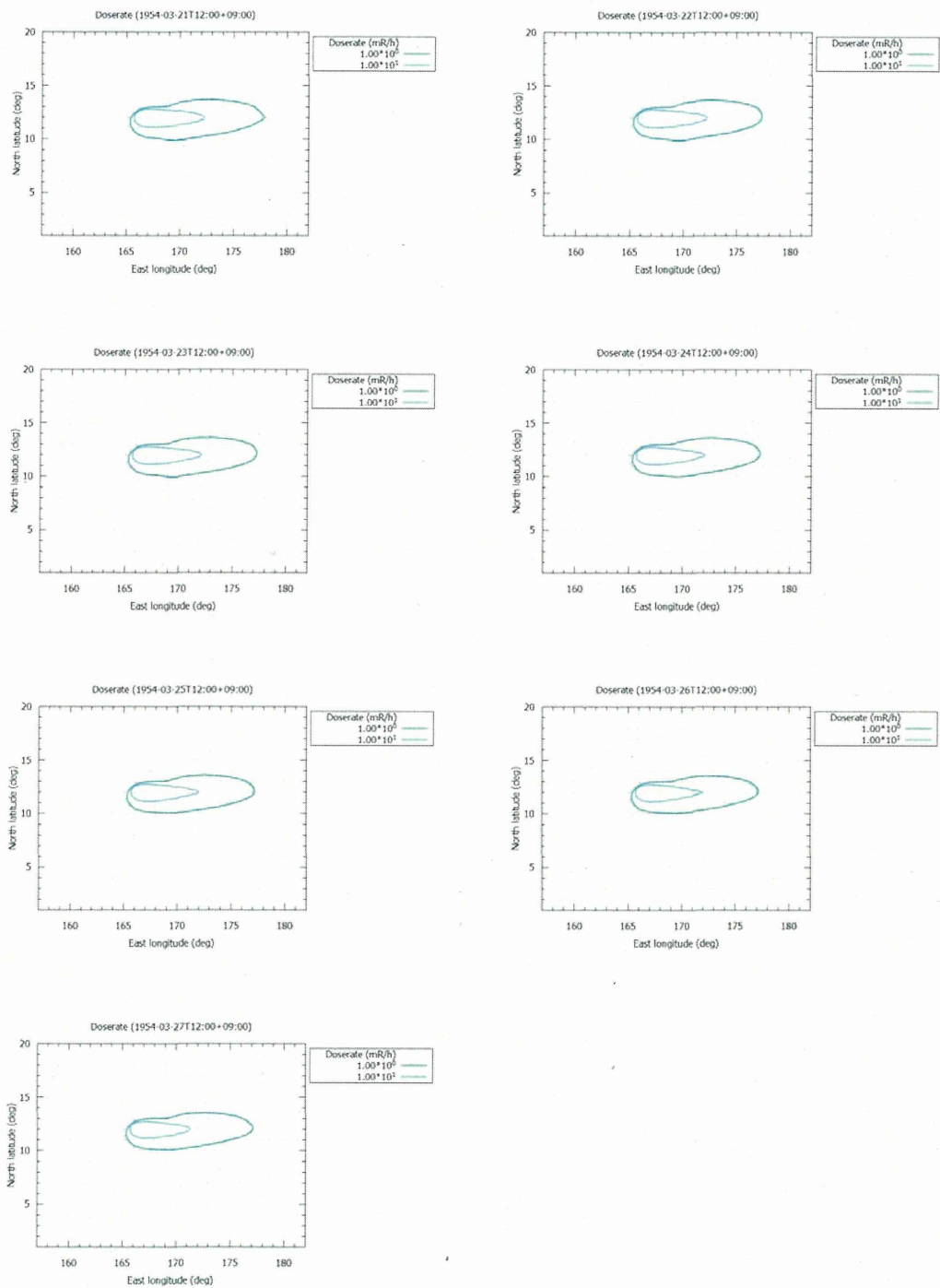


図 7 (続き)

(日本時間：1954年3月21日0:00～3月27日12:00)

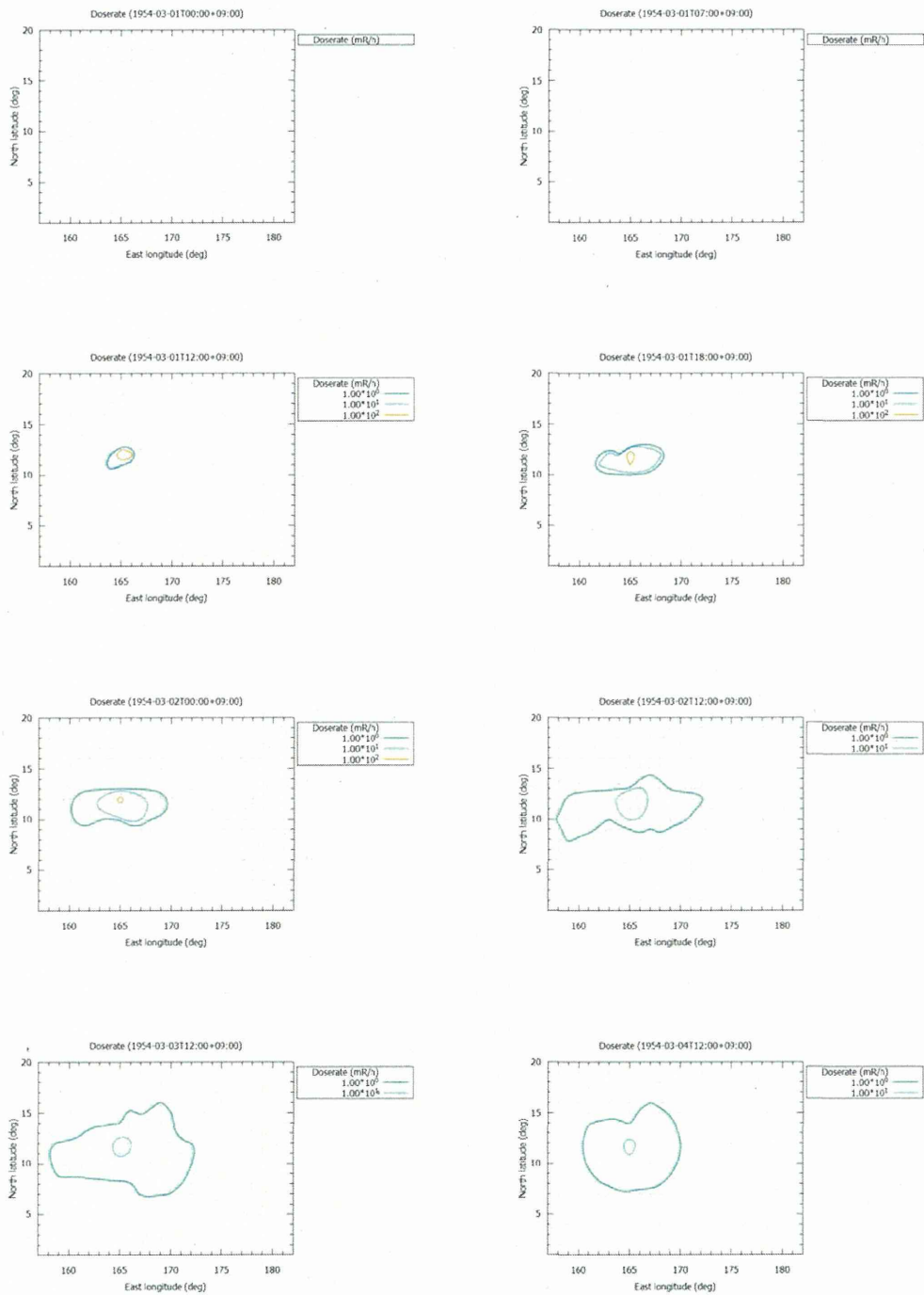


図8 ガウスプルームモデルで計算した全方位一様成分の放射性降下物による線量率
(実験名：ブラボー，日本時間：1954年3月1日0:00～3月4日12:00)

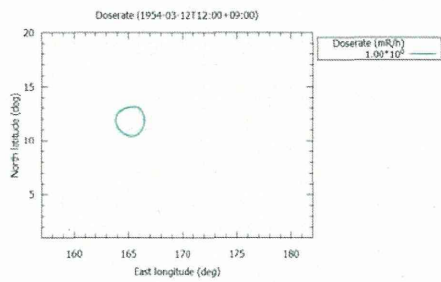
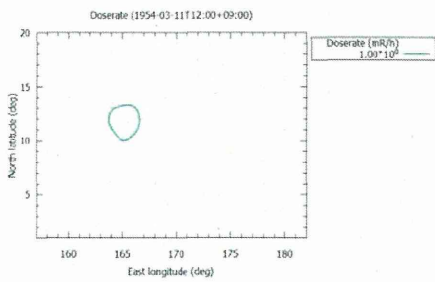
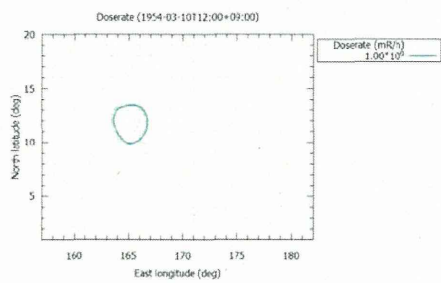
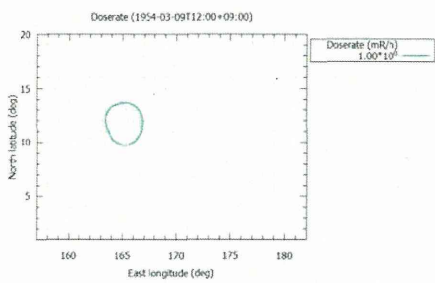
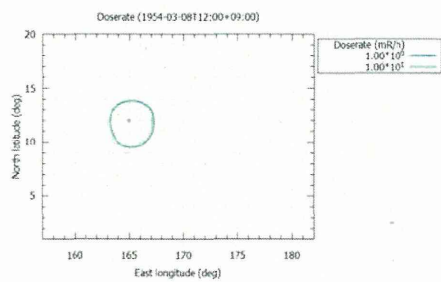
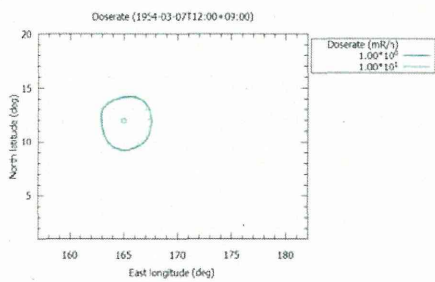
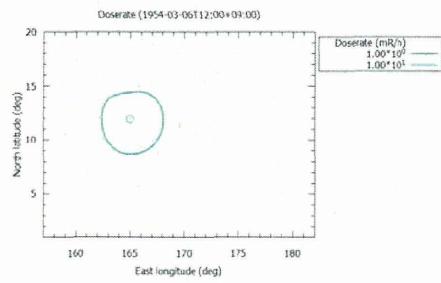
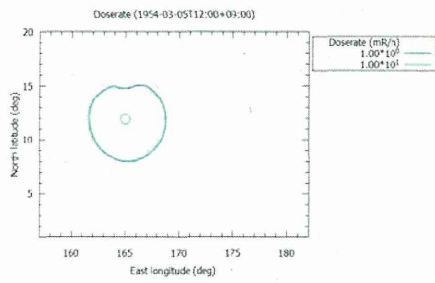


図 8 (続き)

(日本時間 : 1954年3月5日 0:00~3月12日 12:00)

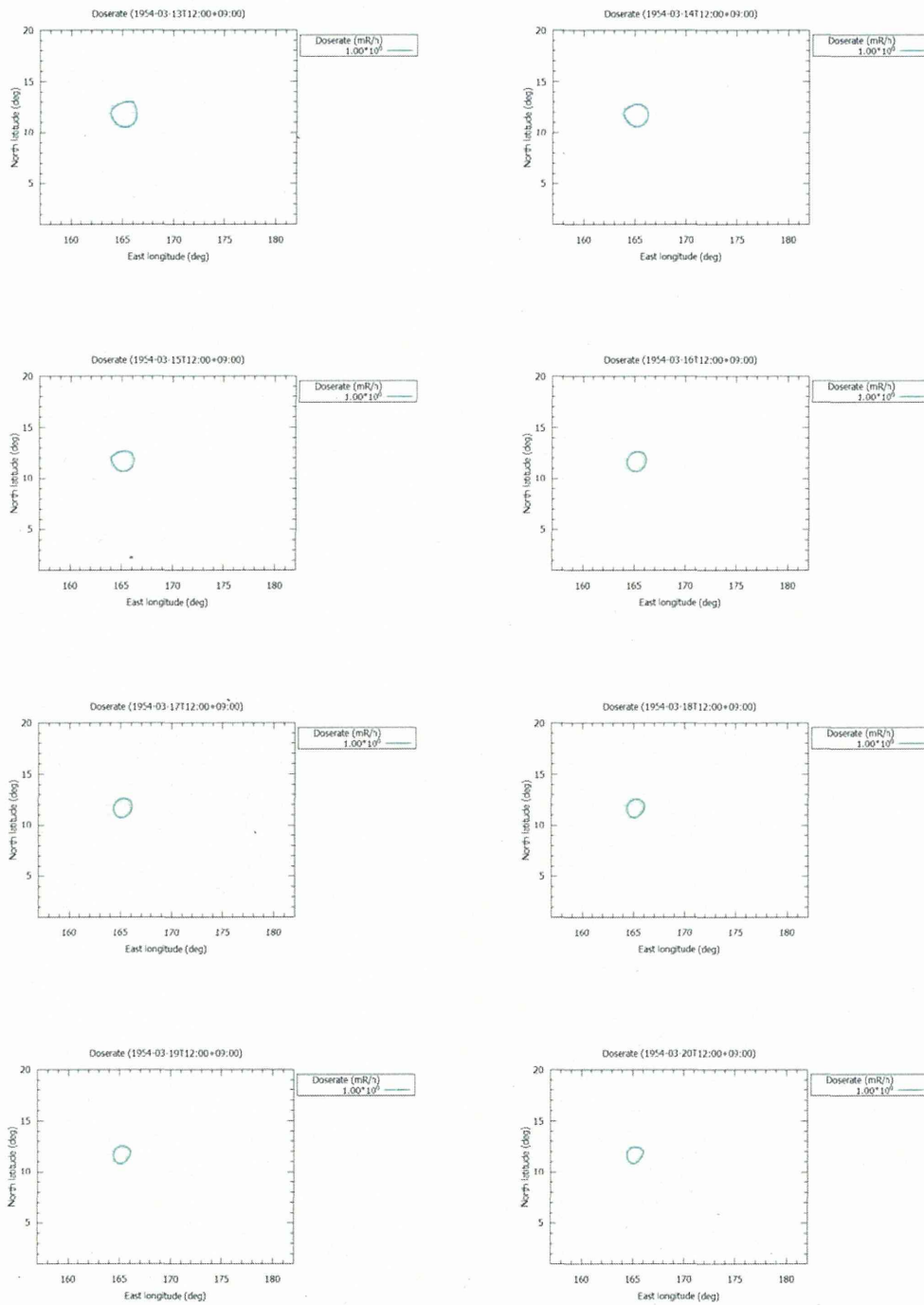


図 8 (続き)

(日本時間 : 1954 年 3 月 13 日 0:00~3 月 20 日 12:00)

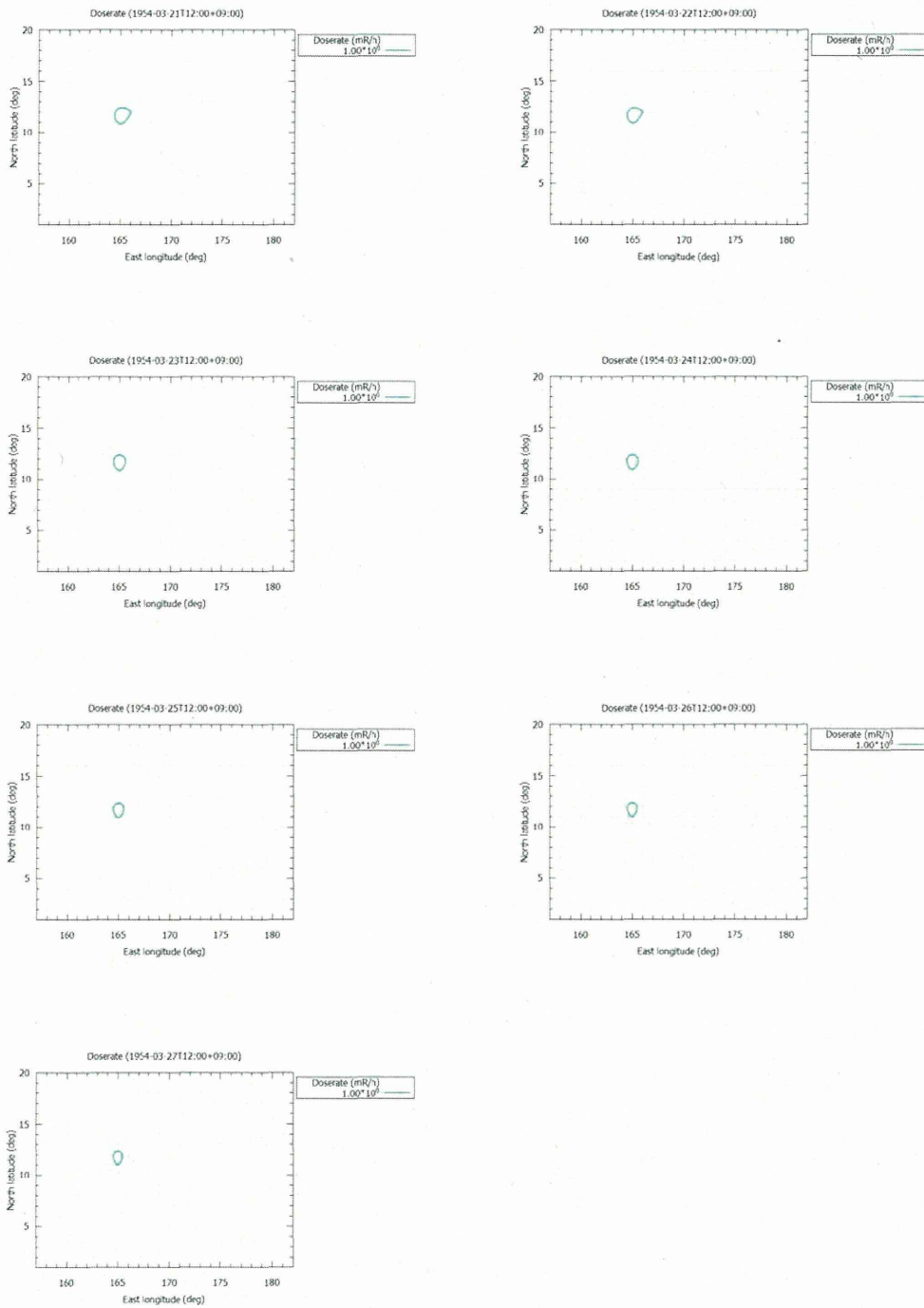


図 8 (続き)

(日本時間 : 1954年3月21日 0:00~3月27日 12:00)

Integral dose(1954-03-01T00:00+09:00 to 1954-03-26T24:00+09:00)

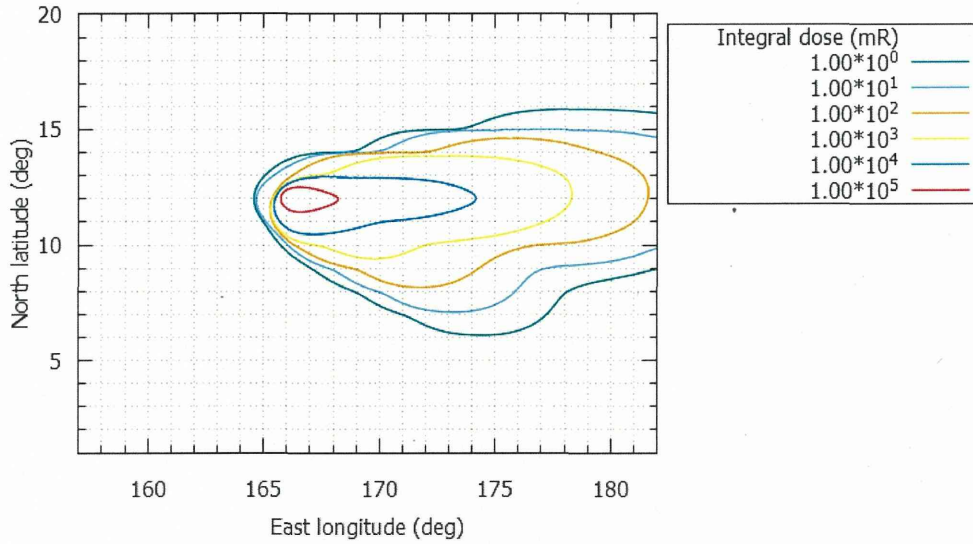


図9 DNAF-1モデルで計算したビカール環礁及びウチリック環礁方面の放射線降下物による線量

(実験名：ブラボー，積分期間：日本時間1954年3月1日0:00～3月26日24:00)

Integral dose(1954-03-01T00:00+09:00 to 1954-03-26T24:00+09:00)

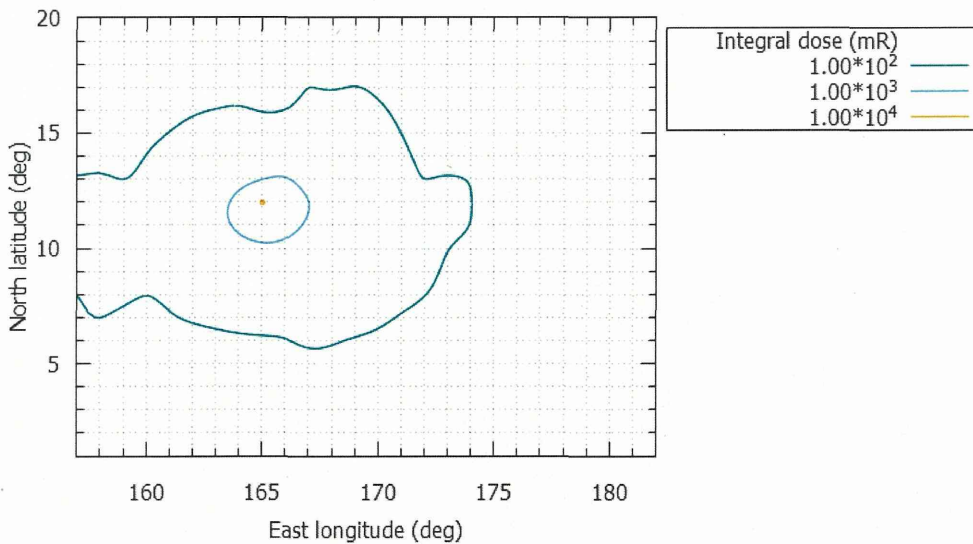


図10 ガウスプルームモデルで計算した全方位一様成分の放射線降下物による線量

(実験名：ブラボー，積分期間：日本時間1954年3月1日0:00～3月26日24:00)